

花巻市環境審議会（会議録）

日 時 平成26年8月4日（月）午後2時～午後3時50分

会 場 花巻市生涯学園都市会館3階 中ホール

出席者 委員出席者 17名 阿部善郎委員、中村良則委員、渋谷晃太郎委員、岩田宗彦委員、八重樫理彦委員、佐々木さつき委員、日下明久美委員、玉田ゆみ子委員、佐藤実委員、船津浩章委員、横野明彦委員、小笠原恵美子委員、岩館昌子委員、柏崎吉光委員、佐藤淑憲委員、八重樫美恵子委員、大菅智和委員

委員欠席者 2名 高橋好子委員、久保田カネ委員

市側出席者 7名 上田市長、平賀市民生活部長、倉田生活環境課長、清水同課長補佐、同課上野環境計画係長、同課細川主事、東北緑化環境保全(株)加藤尚志

報道機関 1名 岩手日日新聞花巻支社小野寺記者

傍聴者 0名

辞令交付

次 第 1 開 会

2 市長あいさつ

3 委員紹介

4 議 題

(1) 会長、副会長の互選

(2) 花巻市環境基本計画の見直し及び花巻市新エネルギービジョンの策定について

5 その他

6 閉 会

辞令交付

（事務局：清水補佐） 本日皆様方には、何かとお忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私、本日の暫時司会を務めさせていただきます生活環境課の清水でございます。よろしくお願いたします。

開会に先立ちまして、本日は花巻市環境審議会委員としてお集まりいただいた最初の会議でございますので、初めに市長より委嘱状の交付を行いたいと存じます。

阿部善郎様より交付させていただきます。

（上田市長より各委員に交付）

1 開会

（事務局：清水補佐） それでは、ただ今から「花巻市環境審議会」を開会いたします。
配布資料の確認をさせていただきます。（配布資料を確認）

議事に入ります前に、本日の審議会は、委員の半数以上のご出席をいただいておりますので、花巻市環境基本条例第28条第2項の規定により、会議が成立していることをご報告申し上げます。

なお、本審議会の会議につきましては、花巻市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、会議を公開しておりますのでご了承願います。それでは初めに上田市長よりご挨拶を申し上げます。

2 市長あいさつ

(上田市長) 本日はお暑い中、環境審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今日から2年間皆様に環境審議会の委員としてご審議をお願いするということになります。今日は暑いですが、昨日は34度9分になった、我々子供の頃は一番暑くても32度くらいだったような気がしますけれども、その頃から比べると3度も4度も暑くなっている。これも地球温暖化の表れかなと思っています。このままだとますます暑くなるということですので、どうしてもCO2をこれ以上増やさないと考えていかななくてはならないということだと思います。原子力発電所が稼働するという話もございますが、それがいいかどうかは別といたしましていろいろな議論があるということは承知しております。その議論はともかくといたしまして、実際に稼働するというのはなかなか難しいのではないかと新聞等を見て思っております。

その中で今回花巻市の環境基本計画を見直すということになります。環境基本計画の中身は、いろいろ入っておりまして、廃棄物の処理から水の保全、CO2の削減の問題等いろいろな広範なことについてご審議いただくということになります。非常に大事なご審議になると思いますので皆様にはぜひお願いしたいと思います。

そしてもう1つ、平賀部長が今年度4月から部長になりまして、花巻市の新エネルギー計画が策定されていないということについて問題提起をいたしまして、新エネルギー計画についても花巻市としてしっかりビジョンを持たなくてはならないということで、そのご審議もいただくこととなります。太陽光発電につきましては、市の施設について太陽光発電の設備を設置するとか、あるいは民間の方でも太陽光発電設備が設置されております。北上の方では大々的にやっておりますが花巻はそこまでまだいっていないわけですが、これについても今後どう考えていくかということをやっていく必要がある。花巻市の土地を貸してくれとそれで太陽光発電を始めますよといっている企業もございます。ただ、花巻市民の土地でございますので、そういう活用の仕方が一番いいのかということ、いろいろ考えてお断りした経緯もあります。そういうことで太陽光発電をただすればいいということにはならないですけれども適地があればそういうことも進めていかなければならない。それから豊沢ダムにつきましては、今、小水力発電ということで計画しておりまして、来年度国の予算がついたら、発電所を作るということを考えておりました。年間1億5千万円位の電気の売り上げができるのではないかと予想しておりますけれども、その結果発電もできますし、それから豊沢川土地改良区の費用も相当程度がこの発電から出るということでこういう計画も進めております。花巻市も当然応分の負担をしなくてはならないということになりますけれども、これはCO2の削減の話もありますし、ぜひやっていく必要があると思っておりますし一緒に国に対しても働きかけていくという状況です。

バイオマス発電につきましても、今いろいろな話がございます、これも市の方で一緒になって進めたいということで今話を進めている。まだ皆様に具体的なことを言える状況にはないのですが、やはりこういうことも必要なのではないかと考えます。その中で個別的にやっていくということではなくて市の将来像を、やはりグランドデザインを描いていって、その中で個別的なものをどうやっていくかというのが大事であると思っております。

そういう意味で今回新エネルギービジョンについてご審議いただくということになっておりますけれども、非常に大切なことであると思っております。審議会と言いますと市の職員はですね、ややもすると自分たちの計画を承認していただきたいということでお話するわけです。これは当たり前のお話なんです。これは自分たちで

一番いいと思わないものを審議会の委員の方々にかけるわけにいかないの、一番いいと思うものを承認していただきたいと思うのは当たり前の話なんです。ただ、市の職員はやはり定期的に異動いたしますし必ずしもこの分野について、優れている知識を持っているわけではない。勉強はしてもらっておりますけれども、すべての知識を持っているわけでは当然ないわけです。その意味でいろいろな方の、専門家の方、あるいは市民一般の方の意見を聴いて自分たちで足りないものを補っていくということは私は非常に大切なことだというふうに思っております。従いまして皆さんの方も遠慮していただく必要はない。市と市民のためにこっちの方がいいんだというふうなことがございましたら、遠慮なく言っていただいて議論を重ねることによっていいものができると思いますので、是非お願いしたいと思います。今日から何回もお集まりいただいてご審議いただくということで大変ご苦労おかけしますがよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。

(事務局：清水補佐) 恐れ入りますけれども、市長はここで退席とさせていただきます。

(市長退席)

3 委員紹介

(事務局：清水補佐) それでは、ここで委員の皆様のご紹介をいたします。紹介につきましては、平賀市民生活部長がいたします。

(事務局：平賀部長) それでは改めまして、委員の皆様方のご紹介をしたいと思います。配布している名簿順に順次皆様のお名前をお呼びいたします。

なお、役職等につきましては、配布しております名簿を参照いただくこととして、失礼ながら省略させていただきます。お名前をお呼びいたしますので軽く会釈をしていただければと思います。

(各委員を紹介)

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

4 議題

(1) 会長、副会長の互選

(事務局：清水補佐) それでは、次に4の議事に入らせていただきます。議題の(1)会長、副会長の互選でございます。平賀部長お願いいたします。

(会長の互選)

(事務局：平賀部長) それでは、議題に入りまして会長と副会長の互選ということでございます。会長と副会長が選出されるまでの間、私が互選の進行を務めさせていただきます。

花巻市環境基本条例第27条第1項によりまして、「審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。」と規定しておりますことからお諮りします。会長の互選をいかが取り計らったらよろしいでしょうか。

(八重樫理彦委員) 事務局腹案あればお願いします。

(事務局：平賀部長) 今、事務局に腹案があったらということですが、ほかにございませんか。なければ事務局の腹案を披露してください。

(事務局：清水補佐) それでは、こちらの方からご指名をさせていただきます。渋谷晃太郎委員さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(事務局：平賀部長) ただ今、事務局の腹案ということで渋谷晃太郎委員さんを考えておりますということでしたが、ほかにごいませんでしょうか。

もしなければ、渋谷晃太郎委員さんに会長をお願いしたいと思いますですがご異議ございませんか。

(多数の承認の拍手あり)

ありがとうございます。それでは盛大な拍手で会長の選出は終わりました。

(事務局：清水補佐) それでは会長の渋谷委員さん、恐れ入りますが前の方にご移動をお願いいたします。以降の議事を務めていただきますが、初めにご挨拶願います。

(席移動、会長あいさつ)

(渋谷会長) 皆さんご推薦いただきましてどうもありがとうございます。こういう任にはあまり慣れていないのですけれども、皆さんのご協力のもと、より良い計画づくりをしていければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(副会長の互選)

(渋谷会長) それでは、同じく条例第27条第1項により、副会長を互選することとなっております。副会長の互選をいかがいたしましょうか。

(八重樫理彦委員) 先ほどと同様、事務局から腹案あればお願いします。

(渋谷会長) 事務局からの腹案を出していただくことでよろしいでしょうか。

(事務局：清水補佐) それでは僭越でございますけれども、案を示させていただきます。中村良則委員さんに副会長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(渋谷会長) 皆さん事務局から中村さんを副会長にということですが、ご承認いただけますでしょうか。

(満場の拍手で承認)

よろしくお願いいたします。

それでは、議題の(1)会長、副会長の互選が終わりましたので、議題の(2)に行きたいと思います。

花巻市環境基本計画の見直し及び新エネルギービジョンの策定について事務局の方から説明をお願いしたいと思います。

(2) 花巻市環境基本計画の見直し及び新エネルギービジョンの策定について

(事務局：倉田課長) 市民生活部生活環境課長をしております倉田と申します。私の方から花巻市環境基本計画の見直し及び新エネルギービジョンの策定についてご説明したいと思います。

～ 配布資料にそって説明 ～

以上、簡単ではございましたけれども説明を終わらせていただきます。

(渋谷会長) どうもありがとうございました。それではただ今の事務局の説明につきまして、質疑を行いたいと思います。

最初に環境基本計画について、お話を進めていきたいと思います。何かご質問ご意見等ありますでしょうか。

(中村副会長) 基本計画ということではないですけども、エネルギービジョンと環境基本計画2つ策定するという話ですけども、アンケートは同じこの8月に行うアンケート1つだと、エネルギービジョンは今年度中に決めてしまうということですね、そして環境基本計画の方は来年度になってから決めるという話ですよ。そうすると、違う話だということになるかもしれないけれども、エネルギービジョンを考える時には既に環境基本計画の骨子が決まっていなとなかなか難しいのではないかという気がするのだけれども、その辺の関係はどのように理解すればよろしいのでしょうか。

(事務局：倉田課長) ただ今ご質問のありましたことにつきましてですが、確かに流れからしますと上位計画に花巻市環境基本計画がございまして、その中で花巻市エネルギービジョンが位置づけられるものでございますけれども、まずは、花巻市エネルギービジョンにつきましては、合併してからまだ作られていなかったということがございますので、まずエネルギービジョンを策定したうえでその内容につきましては、環境基本計画との整合を十分に図りながら策定していかなければならないと考えているところであります。順序は逆になるということもあると思いますが、環境基本計画の中で誤りのないよう、それと十分整合が取れるような形で今後整理して策定していきたいなというふうに考えているところでございます。

(渋谷会長) 今の話は逆ではないかという気がするのですが。環境基本計画のもとでエネルギービジョンが作られるということであるべきであって、ビジョンに引っ張られて環境基本計画が変わるということはないと思うんですよ。そこをたぶん中村先生は、少なくとも骨子みたいなものがなければ作りにくいのではないですかという問いかけだったと思います。

(事務局：倉田課長) 少し言い方が適切ではなかったかと思いますが、今現在花巻市現行の計画がございまして、先ほど申し上げましたとおり、平成20年度から27年度の期間で策定しておりました環境基本計画がございまして、その中で新エネルギービジョンを策定することになってございます。例えばですけども地球温暖化を防止するという施策の方向の中で具体的な施策の中に温室効果ガスの排出削減という項目がございまして、その中で新エネルギービジョンを策定しますということになってございますけれども、このビジョンをまだ策定していなかったということがございまして、まずは現計画に基づいてエネルギービジョンを策定しますという内容でございまして、ただし、それと並行しまして今年度から環境基本計画の方も策定の準備を進めていくところでございますので、それとの整合性も図りながら新エネルギービジョンを策定して参りたいというものでございます。

(渋谷会長) ありがとうございます。要するにエネルギービジョンについては、現計画に基づいて策定をするという考え方、根拠はそこにあるということですね。新環境基本計画ができると、中身について調整が必要になるかもしれないですけども、その際は全く別途考えるということでもよろしいのでしょうか。

(事務局：倉田課長) エネルギービジョンにつきましても、まずは今年度で策定を行うわけでございますけれども、確かに今後の基本計画策定の中で合わない部分が整合性のとれない部分が出ることも考えられますので、それにつきましては、新エネルギービジョンを見直していくということで対処して参りたいと考えております。

(渋谷会長) 中村先生、よろしいでしょうか。

(中村副会長) それでよろしいのではないかと思いますけれども、細かい話になるかもしれませんが、それであればですね現行の環境基本計画の骨子みたいなものをここに配置されてしかるべきではないかという気がするのですけれども。それで、それを備えたうえでそれにのっとったエネルギービジョンが作られるというのが形式的に言えば筋だろうと思うんですよね。それでまた新しく環境基本計画を作ればまた見直しもしますというのもそうかなとは思っています。ですからちょっとわかりにくかったという気がするんですよね。それであればそうだとすることで結構ですけども。いずれにしても現在の環境基本計画の骨子、一番のポイントはひと言でいえば何だということを今簡単に説明いただければ話しやすいのかなと思います。

(事務局：倉田課長) 本日皆様のお手元の方には現計画につきましては配布しておりませんでしたけれども、これにつきましては、コピーになりますけれどもそれを後日お送りしたいと考えております。大変失礼いたしました。

環境基本計画の骨子的なところですけども、位置づけ等につきましては、先ほど説明いたしましたように、新花巻市環境計画と同様の考え方になってございます。位置づけとしてはやはり環境基本条例の第8条に基づき策定するものであるということ。本計画は人と自然の共生や循環型社会の形成、環境負荷の軽減の視点を踏まえつつ、花巻市総合計画を環境面の側面から推進し、他の既存計画や個別の環境計画との整合性を図りながら環境行政の基本的な考え方を示すものだという内容となっております。こちらにつきましては後日郵送にてお送りしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

(渋谷会長) はい、ありがとうございます。すみませんけれども、環境基本計画だけではなくて、平成11年に策定されたエネルギービジョンについても皆さんに配っていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

(事務局：倉田課長) はい、承知いたしました。平成11年に策定されましたエネルギービジョンはかなり厚い冊子となっておりますので、該当する主なところをですね、こちらにつきましてもコピーのうえ配布したいと思っております。よろしく願いしたいと思っております。

(渋谷会長) 審議会に関しては、抜粋じゃなくて本体の方がいいかもしれない。大丈夫でしょうか。

(事務局：倉田課長) はい、わかりました。それでは全ページコピーしたものを送付させていただきます。

(渋谷会長) 冊子はもうないんですね。コピー版しかもうないんですね。

(事務局：清水補佐) 人数分はございませんので。

(渋谷会長) そういうお話ですとエネルギービジョンの審議については、審議会はあと1回だけしかないということになるのですがそれでもいいのでしょうか。エネルギービジョンについて今回中身に触れないまま最終案的なものが次に出てきて、これでよろしいでしょうかということになってしまいうんだけれども。それでよろしいのかなとちょっと思うのですが。

(事務局：倉田課長) 事務局としては一応1回の開催ということで考えてはございますけれども、その内容につきましては、あらかじめ委員の皆様方に配布をいたしまして、その内容を十分ご覧いただいたうえでですね、審議会にご出席いただくということで進めて参りたいと思っております。場合によっては、内容がどうしても皆様方の意見を聴きながら進めなければならない項目が出てきた場合においては、開催回数については考えていきたいと考えてございます。

(渋谷会長) ありがとうございます。ただ今のやり取りを含めてご意見等ございますか。

(岩田委員) 2つお聞きしたいのですが、1つは現在の環境基本計画は実施されたのが平成20年で現在26年、あと1年の間に見直しをしましょう。もし最初に作られた平成20年度から26年度までに、施行されてきた基本計画が機能しているのであれば、実際の行政あるいは花巻市内での環境の現状とそれぞれの年度でいくつかの問題があったと思います。どのような問題があって、28年度から実施する環境基本計画には何を盛り込むべきか、あるいは何を議論し審議していくべきなのか、というこれまでの行政上で得られた知見といたしましうか意見あるいは情報集約されたものがあると思いますので、それをぜひとも現在の基本計画につけていただきたい。

もう1点は、エネルギービジョンに関して旧花巻市が平成11年度に作成されて、合併があるなしにかかわらず現在まで見直しがされていないと。これの理由がよくわからないですけれども。エネルギービジョンを作ったけれどもそれが現実には、機能するようなものでなかったための見直しとか、新しいものをつくっていかうものが出なかったのか。あるいは、新エネルギービジョンを作ってもまたそれも同じ運命に至らないか心配なものですから、これまでこれがどのように機能し機能しなかったのかどこに留意して次のビジョンを作ればいいのかということについての蓄積された情報もつけていただければと思いますがいかがでしょうか。

(事務局：倉田課長) ただ今のご質問ご意見でございますけれども、エネルギービジョンにつきましては11年に策定したものがございますけれども、合併を18年に行ってくださいますが、その時点でエネルギービジョンはなくなったといいますが、新たなものを作らなければならないということになってございますけれども、その根拠となるものは環境基本計画でありましたけれども、それ以後策定されてこなかったというものでございます。ただ今ご意見のございました今までの経緯を踏まえた課題ですとか、それらの点につきましても整理したうえで皆様方に配布をいたしたいと考えてございます。

(渋谷会長) 岩田委員さんいかがでしょうか。

(岩田委員) まずはそれを見てからです。

(八重樫理彦委員) 今までの方と少し関連するのですけれど、私も現計画というのは策定された時に確かに印刷物で一度は見たことがあるのですけども、現計画に対する評価、目標の達成とかいうもの、評価のようなものが今まで行われているのかどうか存じあげないものですから、もしそういう評価を誰かがしているのであれば、それはどこで見ることができるのかどうか。もしその評価そのものがなされていないのであれば、それはまた市の職員の方で調査検討するということはどうなのでしょう。評価というのはまた別の人がするべきものかなと思うのですが、その点はいかがでしょうか。

(事務局：倉田課長) 失礼しました。市の内部では、一応整理してございますけれども、それは外部には出してないというところでございます。従いましてこれらの内容につきましても、今までの評価ですとかその目標がどの程度進捗しているのかですとか、そういう状況につきまして再度整理をかけたうえで、皆様方の方にご報告をいたしたいと考えております。

(八重樫理彦委員) そうしますとこの環境基本計画というのはまた新たな計画を作成しても、その評価等については市民全員が見られるようにはならないというものになってしまう。現計画は少なくともそうだったわけですよ。そうしますと何のために作るのかなという気がするのですが現計画の部分に関して評価が別に外部の方ではなくて市の方でもいいのですけれども、何かそういうもの、このように達成されたとかされなかったとかそういう評価の部分についても市民に公開すべきではないのかなと考えますがどうでしょうか。

(事務局：倉田課長) ただ今のご意見もとてもなところとも思います。その辺のことにつきましても、今後今までの経緯等をしっかり整理したうえでですね市民の皆様方にも公表するような、見えるような形でホームページ等を利用することとなると思いますがその辺のことについても考えていきたいと思っております。

(日下委員) 新花巻市環境基本計画についてという今日の資料の中に、計画に盛り込む主な内容というところに、ここは多分前の計画を踏襲しているのではないかなと思うんです。ということは計画を実現するための推進体制とか進行管理とかいうものは、前の計画でも出されていると思うんですけれどもそういう資料をいただければいいのではないかと思います。

(事務局：倉田課長) 現在の環境基本計画につきましては、印刷したものを後日委員の皆様方に配布したいと思っております。それで計画に盛り込む主な内容につきましても、現時点では内容、表現の仕方がどうなるかはわからないのですけれども、このような内容になるものと考えているところでございます。今後のアンケート調査の内容も踏まえながら文言も整理して適切な表現にしていきたいなというふうに考えております。

(日下委員) 前に平成20年度から27年度の期間で立てられた計画も推進体制とか進行管理とかいうところが設けられていたのだと思います。それがきちっとやられているのだと思うので、管理推進していた資料を私たちに示していただければいいのではないかと思います。

(事務局：倉田課長) その辺のところも整理したうえで皆様方に配布したいと思います。

(阿部委員) 計画というものは、住民の意識、広がりがないと結局計画倒れになるような気がするわけです。従って、環境計画ですね、計画したものがどれだけ市民の中に理解浸透、広がりを見せているのか、そういうようなところが曖昧な気がします。それを飛び越えて新しい計画を策定しようとしている。拙速したような感じですね新しい計画に飛び越えていく感じがする。新計画も前のような状況であると果たして、私たち市民が環境基本計画にどれだけのつかてくるか、その一面として新エネルギーに関する意識調査をすると思うのですけれども、それで果たして市民がついてくるか認識が広まってくるかと、市民の意識が盛りあがってくるのかと、そういうことの危惧を持っている。計画だけでも、何でこんな調査をするのかと、そういうことがあるとすると、机上の計画的なものとなって、事務局の方にも混乱が広まってくるのではないかなというような感じを受けるわけです。

やはり、まちづくりは、住民が根底にあるわけですから、住民のことを考えながら計画立案をしていただきたいと思います。市民への広がり的大事だということですね。

(事務局：倉田課長) 大変貴重なご意見をありがとうございます。ビジョンを策定してもそれが市民に広げられなければ、その策定する意味がないのではないかというお話だとお聴きしましたがけれども、やはり市民の皆様方、事業者の皆様方に浸透するにはですね、やはり時間がかかると思います。ただ時間がかかるとは言いながらもですね、それがなるべく早く広がるような形で方策を立てながらPRに努め、エネルギービジョンにつきましても、推進していきたいと考えてございます。もちろん個人だけではですね事業を導入するにしても、例えば太陽光発電を導入するにしてもお金がかかることでございますし、経済的な面も当然かかわって参りますので、その辺も踏まえて施策等があれば盛り込んでいきたいと考えてございます。計画倒れにならないよう一生懸命やりたいと思いますので、どうぞ皆様方からの適切なご審議をいただきますようお願い申し上げます。

(柏崎委員) 私も花巻市民ですから環境衛生のことについてお話させていただきます。花巻は都市計画のマスタープランで20年度から27年度の間もマスタープランということで、前期、後期に分けて全市民に配布しているわけです。ただその評価がどうなのかという私もはっきりわかりません。ただ、全部ではないのですけれどもこういう計画はある程度達成されているのかなと私は思います。もしかしたら審議会の前に現計画はなされているよという資料が出ていればもう少し話し合いが進んだと思います。

(佐藤実委員) 資料を追加で配っていただけるとのことですが、花巻市環境基本条例についても、もしよろしければ渡していただければなと思います。この審議会の位置づけ役割がわからないままだと言いますか、説明されてどうなのかなと思ひまして、その辺をよろしく願ひいたします。

(事務局：倉田課長) 環境基本条例についても添付させていただきます。

(渋谷会長) 今までのご意見の多くは基本的に、資料が議論するにはちょっと足りなかったなということが1つ。現にある計画がどう評価されてきて使われてきているかということがよくわからないというお話だったと思います。これはおそらく計画実現のための推進体制と進行管理の方法を審議会の方で考えてご提案していった具

体的に言っていくことが大事なのかなと思います。前の計画がどうなっていたのかはよくわからないのですけれども、県の環境基本計画の場合、あるいは他の市町村もそうなんですけれども、最近のものは、8年間の計画です。8年後どれくらいまで達成するのか目標を作って毎年その目標が達成されているかどうかチェックする、審議会で毎年報告されて審議されて、審議会は審議してOKを出すわけなんですけれども、ある程度責任があるので進行管理にも責任を持つということが多くなってきている。年に1回必ず進捗状況について報告がある、それに対してどうしたらいいかの議論を審議会の方でもするというのがあるんですね。多分、花巻は10年以上も前の話ですので、そういうことがされていないのだろうと思いますけれども、私は他の事例なども調べていただいてより良い進行管理とかやり方がいろいろ変わってきているのですから、そういったことを研究していただいて取り込んでいただければという気はしています。審議会も2年の任期ですから、次の人が変わるかもしれませんがいろいろな方のご意見として有効に使う場にしてですね、せっかくこういう多くの団体の方が来ていただいているのですから。作る段階と進める段階が市の施策とリンクして具体的にどういうふうに動いていくのかということ、どこかでチェックをする体制が必要なのかなと思います。

(中村副会長) 新エネルギービジョン策定が1つの骨子となっているのですけれども、この新エネルギービジョンというのは、エネルギービジョンの新しいバージョンという意味ですよ、決して太陽光とか風力とかの新しいエネルギーのビジョンということではないですよ。このアンケートを見ますと、後ろの方で新エネルギー事業者に対して、新エネルギーに対してあなたやりますかやしませんかということ聞いてますよね、市民に対してもあなたはハイブリット車を持っていますかというような話をしていますよね。

何か2つが一緒になってしまっているような気がしますが、その辺の区分けというのはどう理解したらいいのかということなのだと思います。

(事務局：倉田課長) 新エネルギーとしてのビジョンを策定するということでありまして。エネルギービジョンの新しいものを作るというのではなくて、今まで策定されていなかったエネルギービジョンを新しく作るという意味合いもあります。エネルギーとしては新エネルギーの分野としてのエネルギービジョンを策定しようというものでございます。ただし、新エネルギーとなりますと昨今再生可能エネルギーという表現もございまして、花巻の中で新エネルギーのほかに、再生可能エネルギーの中でも取り込めるような利活用できるエネルギーが花巻にあるのであればそういうものも取り込むことも考えていかなければならないと考えてございます。

(中村副会長) そうしますと新エネルギーについての花巻市のビジョンを策定するということによろしいのですね。そうしますと平成11年度に策定したビジョンはそのまま変わっていないのだとそういうことによろしいのですね。

(事務局：倉田課長) 整理の仕方ですけども、まず新エネルギーという分野がございまして、それについてのエネルギービジョンを策定するというのがまず大前提にあります。そのほかに、先ほど申し上げましたとおり旧市で平成11年に新エネルギービジョンというものを策定しているのですけれども、それに代わる新たなビジョンという意味で、新しい新エネルギービジョンという言い方が正しいのかもしれませんが、新エネルギー分野の新しいエネルギービジョンを策定するという考え方になります。

(中村副会長) エネルギービジョン全体に占める新エネルギーの割合はすごく小さい。全体像がない中で新エネルギーだけ取り出すということでもいいのですかね。全体の位置づけをしっかりとしたうえで、新エネルギー分野を特に充実させるということなら理解できるのですけれども。

(東北緑化：加藤) エネルギービジョンにつきましては、エネルギーの考えとして新しいエネルギーを入れていくということと、いろいろ無駄遣いしているエネルギーを減らしていくという2つのものがあります。今回花巻市から新エネルギービジョンの見直しとエネルギーの節約を合わせて見ていくというお話があり、省エネルギービジョンと新エネルギービジョンというのを合わせたような形で、花巻市におけるエネルギーの利用の仕方をビジョンで取りまとめていくということで考えております。国のエネルギー政策のようにCO2削減と温暖化防止がとりまく影響があるのですけれども、新しいエネルギーを積極的に使っていくという部分と今まで無駄遣いしていた部分を見直すとこれだけ無駄を省けるよということに合わせてエネルギービジョンという形でまとめていきたいということで市と相談しております。

(渋谷会長) 大震災の時に問題になったのは、電力の電気が止まった時すべてが止まってしまった。外からもらっているだけでなく、自分たちの中で独立したエネルギーを供給できるような体制づくりを考える時代になってきていると思う。

(岩田委員) 環境に関する基本的な枠組みというのは、それ以外の行政区割り、例えば建築であれば建築基準法というものがある罰則がついてくるような法律のもとで動く。それに対して環境に関するものエネルギーに関するものどちらにしても、行政が基本計画、ビジョンをプラス思考で実施することによって、市民、行政、その他に対して、将来に対しての新しい世界観を持っていこうとそういう意識がなければ、作ることが目的になり実現するこれが理想であるというようなとらえ方をしている市町村はほぼ、ほとんどないと思う。環境についても、これが我々の理想であるということをもとに、それを実現するためにはどうしたらよいかという論理展開というのがないとなかなか市民には自分たちの作りだした目標だというふうにはなかなかいかないと思う。ということをサポートしてみたいと思う。

(渋谷会長) 3・11の時市民の方も停電を経験されたわけですがそれでもそういうことがまたないように、少なくとも最低限の電力は自前のローカルエネルギーで何とかしようと、そういうところから新エネルギーを利用しようという議論が出てくるのではないのでしょうか。過去の経験を生かして花巻市民の安心安全をどう確保していくかという、その目標がいるのではないかと思う。少なくとも公共的なところでは災害時に電気が確保されるとか。そういうのがこれからのエネルギービジョンかなあという気がしています。

(事務局：倉田課長) 今3・11の話が出てきましたけれども、花巻市といたしましてもその経験を生かして、防災拠点となる避難所あるいは地域の振興センターに太陽光発電設備及び蓄電池を設置しまして、少なくとも災害時の初期対応ができるようにしております。また、市内での現在利用している新エネルギーの調査を行っておりますし、今後、設置予定の調査も行っていますので、それらも踏まえて、新エネルギービジョンに加えていければと考えているところでございました。

(渋谷会長) 発展的なことになればスマートコミュニティのような議論になると思いますけれども。あと花巻市らしいエネルギーというのも考えていかなければならないのかなと思います。花巻は花巻温泉という大きな温泉資源を持っているわけですが、温泉熱の排熱とかいうのは花巻ならではのエネルギー源であるのだけでも。花巻らしい資源、エネルギーがあるのかなと。そういったものを伸ばしていくのがいいのかと思う。

(事務局:倉田課長) ただ今温泉熱の利用のお話がありましたけれども、市内でも温泉の排熱を利用した融雪施設を実施しているところがございます。具体には台温泉地区になります。そういう利用をしているところもございますので、実態を踏まえながら計画の方にも入れていきたいと考えております。

(渋谷会長) 計画について知らなかったというのは市民に伝わっていないということだと思います。誰が進捗管理とチェックをするのかということをして市に考えていただいて、資料提供をしていただきたい。次回まで時間がありますので、今までの整理をしていただいて資料を次回の審議会の前に余裕をもってお配りいただいて、次の審議会に活発な議論をしていただくような手立てをしていただければ大変ありがたいなと思っております。

(佐藤淑憲委員) ビジョンの策定スケジュールで、次回審議会に先行してパブリックコメントがありますが、順番がおかしくないですか。私たちが目を通していない段階で先行してパブコメされてもと思うのですけれども。

(事務局:清水補佐) パブリックコメントにつきましては広く市民の方からご意見をいただくという部分でございます。そして審議会の委員の皆様から1月にご意見をいただくということですが、ある程度の整理をかけたから審議会の委員の皆様にはご提示したいと考えてございます。

(佐藤淑憲委員) 新エネルギービジョンもそうですけれども、環境基本計画も両方とも総合計画の暮らしにおける環境の保全を推進する部分に関連しておりますが、その中で新エネルギーに関することについては太陽光発電のことしか書いていないのですけれども、これから作っていくものに関して載っている施策以外のものも含んでいいのですか。それ以上のものを入れていいものなのでしょうか。

(事務局:倉田課長) ただ今のお話は総合計画といいますか中期プランのお話だったと思いますが、その内容に入っている部分は主な事業として載せてございますけれども、もちろん市といたしましてそればかりをやっているというわけではございませんので、それ以外にも様々な事務事業を行っております。中期プランにつきましては、あくまでもメインとなる事業として取り組んでいるものを載せているところがありますので、プランに載っている以外のものにつきましても広くご意見をいただければと考えてございます。

(渋谷会長) 中身はわかりませんが環境教育という側面も入っていますか。

(事務局:倉田課長) 環境教育と言いますか、市では環境マイスター制度というものがございまして、その方々に講師をお願いいたしまして自然環境に関する啓蒙活動も行ってございます。

(八重樫美恵子委員) 婦人団体なのですが、生活と暮らしを守るというのをモットーに活動しているのですが、エコキャップと言って、燃やせばCO2が出ますが、ペットボトルのキャップを集めて発展途上国の子供

たちのポリオワクチンに換えて送ったりと本当にささやかな活動をしております。エネルギーについてもできるだけ節約しようとは話しているのですが、市の大きな問題になると見えないところがありますけれども、これからもそういう活動で協力していければと思っておりました。

それから、ごみの分別はやっているのですが、以前、紙は燃えるごみに出していたのですが、紙はごみでなくて資源だということをこの前市の方の説明で初めて知った。それでかなりごみの削減ができるのではないかなど。そういうことも末端の人たちは知らない人たちがたくさんいるのではないかなど。市民に伝わっていない理解されていないことがあるので、いかに啓蒙して末端の人たちに浸透させるかというのが大切なことだと思います。

(渋谷会長) そういったご意見が環境基本計画にどう盛り込まれるかが大切なので、今後どんどんご意見を出していただきたいと思います。

次回以降は中身の話になってくると思いますので、資料は余裕をもって配っていただいて有意義な審議会になるようにしていきたいと思いますので今後ともよろしく願いいたします。

今日はこれで議事を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

(事務局：清水補佐) 大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。次回までに資料調整して皆様にお配りさせていただきますのでよろしく願いいたします。

5 その他

事務局より、次回の開催についてお諮りいたします。

先ほど説明させていただいた策定スケジュールの中にもありましたが、次回につきましては、本日ご説明いたしましたアンケート調査結果につきましての説明と新エネルギービジョンの原案につきましてご説明をさせていただきます。次回の審議会開催日程につきまして来年1月の開催を予定しておりましたので、よろしく願いいたします。日程につきましては改めてご通知申し上げますのでよろしく願いしたいと思います。

6 閉会

これをもちまして花巻市環境審議会を終わらせていただきます。委員の皆様、本日は大変ありがとうございました。